

雑音スクリュ



サービス精神の欠如と自嘲しながら
バンド THE CLAIM-ER 未発表音源を含む
ミニアルバム 2 枚を突然配信リリース
これは本格始動の狼煙か気まぐれか
混沌の 2 万字ロングインタビュー！

INTERVIEW BY MASATOYU NAGANO
June 9th, 2022

●THE CLAIM-ER(以下クレイマー)
のミニアルバム 2 枚を突如配信した
経緯を教えて下さい。

「経緯も何も、ん、ずっと心残りだったというか、まあ、それなりの形で残つてもいいように、いつかは出しておきたいというのがあって。あの頃は CD-R で全然いいやと思つて、作つたから。んで、ネット配信も CD プレスも手軽にできる時代になつて、、何度か自分なりにやってみてたのよ。今となつては物足りない音源を、マスタリングみたいなもんがなんとなく、自分なりにやって納得できたので、これで、つづつ」と。」

●てつきりソロとか、雑音スクリュー名義とか、何なら新バンドとかでなく、20年前のクレイマーを配信する意味というか、どんな心境ですか？
「んないね、意味は（笑）確かに。
再結成とか、気まぐれでタイミング

グであるかもだけど、がつり積極的にはないし。ん、さつきも言った通り、後になると物足りない音になつたから、まるで聴いてなかつたし、新しい曲とか音とか、そつちをつくることしか考えてなかつた。あの時はあの時のベストで最短な表現で、アレはアレでよしつて、つくりっぱなしで終わつてた。そんな『アレ』っていう、距離感よね、出して離れて忘れてた。で、新たなバンドやつたり、独りでやつたり、それなりに進んでる感じのなかで、クレイマーの頃から何回演つても楽しい曲は、ときどき演るからもちろん忘れないんだけど、ほかに昔どんな曲やってたっけ？ 久しぶりに聴いてみたら『お？ 結構いいじゃん！』ってね笑）見直したといふか、むしろ新鮮でしたよ。そんで、新しく気まぐれに録音してるなかで、昔の音源や、途中の音源も、ミキシングやマスタリングの練習に

なるで触つてみたら、ようやく納得するといふまで形に出来たとい

う。偶然に近い、意味のない到達が来たというか。そんなところ。世に出たところで、今さら人気者にな

なりたいわけでもないし、多くの人に聴いてもらいたいわけでもない。

そういうのはどうくして誇めてるんで、それでも自分としては結構いいのくれたからなんかの形で出し

ね、それでも自分としては結構いいじます。それもなるべく、知り合

いじやない方がいいね、知り合いび

いきとか、気を遣わなくても楽しむ

ないし。」

●偶然だなんて、どつかつくり手と

して無責任にも聴こえてしまつて、

今回の配信で喜んでいるクレイ

マーのファンだった人に失礼なよう

な…。

「そうなんだけれど、サービス精

神ないっていうか、もちろん聴く人

を否定なんでしないんだけど、つく段階で、(つづる側としては、聴く人のこと考えてないもんで、やりっぱなし、出しちばなしなんだよね、)これは昔から。評価とか反応が、ライブも作品も自分が感じた良し悪しを超えることがなくてね、褒められてもけなされても、そんなから、今こうなつてんだろうが、(笑)この再演められてもけなされても、そんなから、今こうなつてんだろうが、(笑)これも多分よくある話で、ちょうど日本は大学卒業して就職したくともしにくい就職氷河期が

だから、今こうなつてんだろうが、(笑)この再

●うなつたっていう辺りが、何か

含んでそうで、全然伝わってこない

んですけど(笑)

●「ふうと。高校でバンド組むこと

になって、文化祭とか地域の公民館で、ワイワイ楽しゅやつてたのが、受験とか卒業とかで、なんとなく

自然消滅して、こんなよくある話

が、もれなく自分たちも。それが

それ大学行つたりで、とくにやるこ

とないし、時間もやたらあったか

らかな。で、メンバーも変わったり

で、またなんとなく集まつてライブハウスに出たりして。やるからには、プロ目指して、CDデビューなんて夢を描いてしまつて、「これも本人達は真剣なつもりなんだけど、なん

となくなんだよね、流れ、これが(笑)これも多分よくある話で、どんどん他のバンドを知って、マネしちゃう、どれもちょびっとずつ(笑)

とか、アーティスト(The Beatles)は好きだけどやらなかつたな、なんか出来ない感じした(バンド)スコアもなかつたし(笑)で、オリジナルの割合がほとんどになつて、キレイ

マーツでやつて、次は吉祥寺だ、渋谷だ、下北だとか、戦略もビジョンもなく、ホームみたいな場所もなかつたしつくらなかつたし、つくれな

ね)つて思つてへらじの。やりっぱなし。お客様があまああ居る中で、知らない出演者に話しかけるのって、結構勇気みたいなもんがいるし、逆

●レコードデイブはスムーズに進んだんですか? プロでもその後に影響する洗練を受けるような話も

●ところでは、このもの知らずで、当然の流れでレコードデイブする」となつた。

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●レコードデイブはスムーズに進んだんですか? プロでもその後に影響する洗練を受けるような話も聞きますが。もしかしてそこで初めて自信をなくしたとか?(笑)

「プロじゃないし、それはプロだからで、プロ意識があるからなんじゃないですかね。ウチらは甘々で丸腰でそのまま、シンプルとか真っ直ぐが良いと信じ込んでたところも

「アーティストがいいもの知らずで、当然の流れでレコードデイブする」となつた。

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●レコードデイブはスムーズに進んだんですか? プロでもその後に影響する洗練を受けるような話も聞きますが。もしかしてそこで初めて自信をなくしたとか?(笑)

「アーティストがいいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●レコードデイブはスムーズに進んだんですか? プロでもその後に影響する洗練を受けるような話も

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●レコードデイブはスムーズに進んだんですか? プロでもその後に影響する洗練を受けるような話も

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

流れでレコードデイブして、流れで出したと。「そんな感じよ。埼玉で毎週スタジオ入つて、月一でなんとなくライブハウスに出るようになつて。ブルーハーツのTシャツからはじまって、どんどん他のバンドを知って、マネしちゃう、どれもちょびっとずつTシャツとか、ミンショウ(The Beatles)と、MICHELLE GUN ELEPHANT)とか、ハイロウズ(↑THE HIGH-LOWS↑)とか、アーティスト(The Beatles)は好きだけどやらなかつたな、なんか出来ない感じした(バンド)スコアもなかつたし(笑)で、オリジナ

ルーハーツのTシャツからはじまって、どんどん他のバンドを知って、マネしちゃう、どれもちょびっとずつTシャツとか、ミンショウ(The Beatles)は好きだけどやらなかつたな、なんか出来ない感じした(バンド)スコアもなかつたし(笑)で、オリジナ

ルーハーツのTシャツからはじまって、マーツでやつて、次は吉祥寺だ、渋谷だ、下北だとか、戦略もビジョンもなく、ホームみたいな場所もなかつたしつくらなかつたし、つくれな

ちつからなかつたし、つくれな

ちやつた。他の場所でも月1位でライブやりながらでも、そのイベントの勝率は良かつたな、相手にもよるんだけどね。」

●レコードデイブはスムーズに進んだんですか? プロでもその後に影響する洗練を受けるような話も

●ところでは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

●ところとは、「わいもの知らずで近寄ってきて『よかつたです』とか

「どうが、準備して構えてジャーンとガムシャラにやつて、終わり。それでその一日で終わり。エンジニアの人とも方向性や要望もせすだが、なんと聞くてくれたことに、答えたくらいで、音聞けばオレらのやりたいこと分かってくれるつよいみたいなあー」れも無責任だねえ。」

●ある意味嬉しいですね。バンドマジックでも言うのか、この流れといふか、レコードデイシングまで漕ぎつけて、確かにストーリーとしては進んでいるから立ち止まらないといふか。

「そうかもね。だから後に僕が辞めようと言うまで話し合つたりもあんまなくて、メンバーは方向性

だねえ。」

●ある意味嬉しいですね。バンドマジックでも言うのか、この流れといふか、レコードデイシングまで漕ぎつけて、確かにストーリーとしては進んでいるから立ち止まらないといふか。

「そうかもね。だから後に僕が辞めようと言うまで話し合つたりもあんまなくて、メンバーは方向性

とか、話したかったのかもだけど、スタジオの後にみんなアミレスとかファーストフード行つたり、ライブもさ、入りからりへして本番まで来て、まあ空くし、話すなら時間はやたらあつたんだけどね。ついて来てたというか、ついて来てくれてたんだろうな、と思うね。」

●そういう話やりとりを、ライブ打ち上げなどの場では? 「しなかつた。そもそも打ち上げを。それぞ電車や車で2時間くらいかけてライブハウスで集まって、終わって帰つたりだから、バラバラに。他の出演者から誘われたりしても、帰つてた。ライブ本番がピークでMAX楽しいもんだから、それ以上いらない。余韻とか反省とか欲しないんよ。だからほんとに数

有名人とかスペシャルメインな出演者と打ち上げで語らう機会には、無理して参加したりもしてみたけど、喜ぶだらうと思つてセッティングしてくれり。有難いんだけどね、それもあんまり(笑)ステージ本番の価値には敵わない。今もそんな感じ。」

●クロマニヨンズの甲本ヒロトさんも、そんなようなことを言つた記事を見たことがあります。

「知つてる。でもきっと違つんだ。なんか似てるかもだけどホントのヒロハは全然違う意味だとは思う

回、時間的にめちゃ余裕ある時とかだけだったかな。打ち上げで呑むためにライブするつて、冗談で言う人とか結構会つてきたけど、うん、僕はいいかなってそんな感じ。反応はばっただんですか? 「んー、思えば、ライブのまんまで工夫もなく、ライブ來てる人に録つたようなもんだから、ひねりも工夫もなく、ライブ來てる人が変わつてもらつても、あまり変わつた反応はなかつたかな。そりやそうだな。フツーというか、まんまだから。ライブで聴いてたものが、形が変わつて手元に残つてるアイテムというか。つまり反応はとても良くも悪くもなかつた、に、なるのかなあ。あ、思い出してきた。やつたわ、音源つくつたら何するか。」

●売り込みですよね。当然の。

「おーちょっと何か起つりそうな。なぜ来ないか分からぬから、もう直接行くことにしたのよ。」

●おーちょっと何か起つりそうな。やつと壁に突き当たるような予感もしますが。

「どうだかね。折角だから超有名でデモテープを送つてっていうのは、レコード会社にね、当然送つてあつた会社にね、ドラマの甲ちゃんに行つたのよ。青山だったかな、ビルにさ。アボなしで。普通にビルだから、なんか部屋に通されて、そ

の先、おじさんが対応してくれて、普段だつたら聴かないけど、ちょっと時間があるからとか、特別にとか、そんなこと言われたかな。で、CD-R渡して。それが、安物のスピーとかで再生されたまま置き去りにされるような小つちやいCDラジカセで、音も小さくさ、再生され、一番のサビ終わつらいで、止められて。他の曲はあるのかつて聞かれただけど、そん時はいつも分かつてなくて1曲しか持つてかな

『サ○○の○○さんが稼いだお金で新人をデビューをさせるわけだから』『サラリーマンになるのが嫌だからつづく音楽で)やつてるんだとしたら辞めた方がいい、サラリーマンの100倍大変だからね』とか、そんなに嫌味つたらしくもなく、それは全然ダメですよつてね。諭すよ

うな。いや、ちょっと考えたら分か
るよ、安物のプレイヤーで流すの
も、理由があるのとかはさ。」

●バンドとしてはじめての挫折です
かね…

「いや、それがそうでもなくて(笑)
ビルから出で駅までの帰り道、そ
りやなんかガツカリというか、しょ
んぱりというか、二人で落ち込
んでるような、無言で歩いたけども。
それより何を言われたのか、自分
たちは何を期待してたのかとか、
考えるとね、良いもの目指してや
って、良いものが認められてデビュー
して、プロになるみたいに思つた
のが、なんか違うのかな、違ったの
かなみたいな。どっちかというと、
どの話も分からなくて刺さらなく
て、なんだろなーみたいな。」

●作品を否定されたかの、悔しさ
とか、怒りとかは…?

「そういうのが、なくて(笑)こう、
自己防衛的にさ、否定されてそ」
寧に対応してくれて、ちゃんと話し
てくれたんだと思うんだけどね、
嫌な感情はなかったよ。」

●それでも、流れに流れで壁にぶつ
かったようにも思えます。そこか
ら何か変わったんじゃないですか?
「んく。んく? 全然デビューでき
ないんだなってのは、分かった。そ
れでも、そのまま、だったかな。見
直すとか、何か取り入れるとか、
なかつたかな。もつと良いものを
演つて行くぞ! その結果、何かな
ればいい。なるべくじゃないの? つ
て位にしか思つてなかつたね。」

●その後の活動に変わりはなかつ
た。

「ですね。新曲つづって、スタジオ

から目を逸らしたつもりもなく、
なんつたんだる、どつかかという
と、良い悪い、好き嫌いの、判定や
受け渡しがなさすぎて、ポカーン。

受け渡しがなさすぎて、ポカーン。
感じかな。あちらはあちらで丁
寧に対応してくれて、ちゃんと話し
てくれたんだと思うんだけどね、
嫌な感情はなかったよ。」

●それでも、流れに流れで壁にぶつ
かったけど、その辺は今回の音
源でも改めて、その時にしかない良
さや熱いや粗さがね。でも一番ズ
所えたり、まーアクトライブとも
言えるけど、ノープランの無鉄砲
しょ。」

●そして解散へ?
「なんか、よく分かんなくなつて
きてたかな。自分の曲は間違いな
くいいと思つた。ライブハウスも
有名どこで演らしてもらつたり。
あーでもお客様は減つたかな、自
分らも社会人年になつてつて、友
だちとか知り合いも、そちで忙し
くなつたというか、単独で最大50
人位呼べたのが、お客様の時が
あつたり、新たなお客様が増えるで
もなく、かと言つて自分らより、い

いな」とか、かつこいいバンドもいく
つかだけ、ほんんど出会いわなかつた
から、自分らを誇める理由も見つ
からず、この先になんかあるかも
なつて続けてたかな。メンバーの演
奏もレベルアップしてたら、なん
か嘘み合わないでなんかなーの日
もあつたけど、その辺は今回の音

源でも改めて、その時にしかない良
さや熱いや粗さがね。でも一番ズ
してつたり、違うことやつて壊し
ちやつたりしてたのが、僕だった
なー。焦りとか変えなきやが、あつ
たかもなー。クレイマーのライブ
映像まとめて編集してYouTubeに
アップした時に、残つてる映像見直
したらさ、あ、メンバー「んなカツ
コいい」とやつてたんだな、俺は「
あちやーみたいな。そういうのは全
カット(笑)痛いMCも全カット。そ
の時その場所でしか分からんと」
もあるんでね、今見ても、痛いだけ。
潔くも青くもない。」

説明不足なフロントマンに対して そつちに神経向けるしかないから 研ぎ澄まされるのかもね

●なるほど、バンドの末期感が、な
んとなく漂つている感じがします
ね。

「で、ひとまず『オレ』もう一つバ
ンドやるわ』みたいにメンバーに
言つて、リハスタに募集の張り紙と
かして。クレイマーは毎週スタジオ、
ライブ月一位でやれてたから。」

●メンバーの反応は?

「確かに微妙だった氣がするけど、
反対もされなかつたかな。クレイ
マーで曲書いて、それなりに精力
注いでるのは分かつてもらえてたん
じゃないかな、そこにさらに上乗せ
で他のことやれるなら、クレイマー
にもプラスになるような気もした
んだろうし、僕がそんな」と言つた
かも知れないし。」

●バンドかけ持ちはどうでした
か? 「新鮮だった。東京ならではなの
か、すぐに加入希望の連絡来るし、
この指止まれの「つちは曲つくるし、

音源あるし、出演してきたライブ
ハウスの名前も、まあまあ強いよね。
そりや(笑)」

●新しいメンバーに求めた条件み
たいなものは? まさか、「

「そく、ノーブラン(笑)」

●「」でもですか。せつかく新しい
バンドつくるのに、つて思つてしま
ます。

「だよね。完全プロ志向。日本語
ロック。だけ掲げて、希望者とスタ
ジオ入つて、音合わせて…だから、
打ち合せとか相談とかなしで、
上手い下手とか、呼吸とかユニアン
とか、ちつとは話さなきや、あち
らも不安だらうに、親切丁寧ゼロ

の俺(笑)」
●相変わらず無責任ですよね、人
生かかつてるので。

「そうだよね。それでもスタジオ
入つて音出すとさ、何曲かやつて、
あ、この人無理かもとか、イマイチ
かもつて思つた時は、スタジオ出た
らだいたい、相手も「そう思いま
した。」「つこ縁もなく流れるのよ。
そんなこんなで大して厳選しなく
てもテクもあつてオモロイメンバー
が集まつた。カナリアつてバンド名
にして、ライブして、どんな音や感
じになるかわかんないから、やっぱ
新鮮で面白かったよね。」

●笑い事じやないんじやないです
ね。本人は何かプラスになつて、引
き出しとかバリエーションにはつな
がりそうですが。

「結局続かなかつたね。フロントマ

好きだったんだろくな、自分は。

客も増えないし、結局気ままに好きなように気分に任せてやるのが、好きだったんだろくな、自分は。それで、そんな煮え切らないし、プロは無理と感じたドラマが、抜けるつて言った。ある日。もはや、言つてくれた、つて感じ。そしたら、自分もすんなりと、ああもう終わるうと、あっさりと、決まつたライブ消化して、最後もワンマンとかなくフックイングだけ、解散ライブつてことにして、池袋で。終わり、自分のバンド終わるうつてね。」

●なんだか氣味が悪いくらいに、あっさりしてるとか。ストーリーといふのがボヤけて終わつてますよね。そのラストライブが『JET LAST BOOGIE』というCD-R音源になつてしまつたね。何年か後に

きなように気分に任せてやるのが、好きだったんだろくな、自分は。それで、そんな煮え切らないし、プロは無理と感じたドラマが、抜けるつて言った。ある日。もはや、言つてくれた、つて感じ。そしたら、自分もすんなりと、ああもう終わるうと、あっさりと、決まつたライブ消化して、最後もワンマンとかなくフックイングだけ、解散ライブつてことにして、池袋で。終わり、自分のバンド終わるうつてね。」

●なんだか氣味が悪いくらいに、あっさりしてるとか。ストーリーといふのがボヤけて終わつてますよね。そのラストライブが『JET LAST BOOGIE』といふCD-R音源になつてしまつたね。何年か後に

の俺が良く分かつてなかつたからね。楽しいけど、先見えん。もつとガツガツ行かねえの?と、なんかエネルギーも、やっぱ辞めようって言って、最期の方は僕がエレアコ持つてアンプラグドっぽいの試したり、ますますデータメやつてたよな、そちも面白かったけど、続けてたらなんかなつたかもだけど、クレイマーは終わりにした。もう今は、何が何だかわからんなくなつてたな。その後わりとすぐに力のバンドへ行くから抜けるつてなつた。うちもプロ志向かかけてたから引き止めることなく、そつかってなつて、3人になつて、どうするかなーどうなるかなーで、結局止まつてしまつた、ボヤボヤつと。」

●「ここへ来て一気にバンドの難しさと、うか、人間模様が出てますね。」
●「ふーまあ、それでも、また新しくメンバー集めだすんだな、これが。でもさすがにというか、自分のやりたいこととか、持ち味は何かとか、ちょっと考えたね。そんで、一人で弾き語りとか、打ち込みに合わせて一人でライブしたり、路上弾き語りやら、武者修行もどきの模索というか、力つて何かわからんけど、レイマーは終わりにした。もう今は、何が何だかわからんなくなつてたな。その後わりとすぐに力のバンドへ行くから抜けるつてなつた。うちもプロ志向かかけてたから引き止めることなく、そつかってなつて、3人になつて、どうするかなーどうなるかなーで、結局止まつてしまつた、ボヤボヤつと。」

●「聞いてるこちらも、なんだか不安になるような、やはり苦しい状況だったんですね。」
●「辞めたきや辞めればいいんだから、好きにやらしてもらつたという点では、しんどくても苦しくても、幸せだったと思うよ。いろいろ分

なつて。」「なんか残したかったんだよね。もうバンド出来ないかもだつたし。勝手に調整して、マスタリングも外注して、それなりにつくつて、散り散りになつたメンバーにも送つて。本当に終わつた、感じ。そうだなー、あつさりだけど、自分が中学高校で、楽しみにして買ったCD聴いて雑誌やテレビで見てたのとは、違う世界というか、いろんなことに自分も出たけど、観ることも増えると、有名メジャーな人気バンドが年間50本ものツアーを大成功!とかよりさいやいや規模は違えど、

●「そういう、紆余曲折があつて、今がつて、今だからこそ、クレイマー時代の音源を配信したと、やつと本筋に繋がるわけですね。」「まだだよ。しかし、こんなに語りたいなんがないとなーとは、思うよ?これでも、内容の誤差が

●「JETへ来て一気にバンドの難しさと、うか、人間模様が出てますね。」
●「うん、みんない人間だったと思いつつ、どうか、持ち味は何かとか、ちょっとと考えたね。そんで、一人で弾き語りとか、打ち込みに合わせて一人でライブしたり、路上弾き語りやら、武者修行もどきの模索というか、力つて何かわからんけど、レイマーは終わりにした。もう今は、何が何だかわからんなくなつてたな。その後わりとすぐに力のバンドへ行くから抜けるつてなつた。うちもプロ志向かかけてたから引き止めることなく、そつかってなつて、3人になつて、どうするかなーどうなるかなーで、結局止まつてしまつた、ボヤボヤつと。」

●「聞いてるこちらも、なんだか不安になるような、やはり苦しい状況だったんですね。」
●「辞めたきや辞めればいいんだから、好きにやらしてもらつたという点では、しんどくても苦しくても、幸せだったと思うよ。いろいろ分

なつて。」「なんか残したかったんだよね。もうバンド出来ないかもだつたし。勝手に調整して、マスタリングも外注して、それなりにつくつて、散り散りになつたメンバーにも送つて。本当に終わつた、感じ。そうだなー、あつさりだけど、自分が中学高校で、楽しみにして買ったCD聴いて雑誌やテレビで見てたのとは、違う世界というか、いろんなことに自分も出たけど、観ることも増えると、有名メジャーな人気バンドが年間50本ものツアーを大成功!とかよりさいやいや規模は違えど、

●「そういう、紆余曲折があつて、今がつて、今だからこそ、クレイマー時代の音源を配信したと、やつと本筋に繋がるわけですね。」「まだだよ。しかし、こんなに語りたいなんがないとなーとは、思うよ?これでも、内容の誤差が

かつたし、向き合わざるを得ないというか、何したいんだつけつてね。」
●「そしてジェットラですか」
●「うん、みんない人間だったと思いつつ、どうか、持ち味は何かとか、ちょっとと考えたね。そんで、一人で弾き語りとか、打ち込みに合わせて一人でライブしたり、路上弾き語りやら、武者修行もどきの模索というか、力つて何かわからんけど、レイマーは終わりにした。もう今は、何が何だかわからんなくなつてたな。その後わりとすぐに力のバンドへ行くから抜けるつてなつた。うちもプロ志向かかけてたから引き止めることなく、そつかってなつて、3人になつて、どうするかなーどうなるかなーで、結局止まつてしまつた、ボヤボヤつと。」

●「それは、どういった理由ですかね、ちょっと想像できないのですが、、」「ジェットラは、なぜか映像いつばい残つてるので、いづれ編集してYouTubeにでもあげるつもりだけだ。それ観たら改めて思つたね。曲つくつてメンバーも集めたフロントマンが、その僕がね、やっぱ垢抜けなかつたというか、突き抜けたり、も早かつたな、揃うの。有難い。実は扱いきれない濃いキヤラとか、オレの方が完全に足を引っ張ることになりそうなメチャ上手な人とか、オレなんか、かすむーみたいな人も、加入希望きて音合わせたりもし。あれも、月並みな言葉ですが、まさにカルチャーショックで、そうね、ますます俺つて何?って、向か

ざるを得なかつた。それでも、ジェットラ捕つてその後は、ほとんど東京ばかりで、1年ちよつとかな、自分らでレコードディーラーして、ちょうど音源もつづいてイベント呼ばれたり、あちこち出てみたり、メンバーの演奏力も安定してたから、ボーカルの僕も、やりやすかつたハズなんだけど、また、進まなくなつた。」

●「それは、どういった理由ですかね、ちょっと想像できないのですが、、」「ジェットラは、なぜか映像いつばい残つてるので、いづれ編集してYouTubeにでもあげるつもりだけだ。それ観たら改めて思つたね。曲つくつてメンバーも集めたフロントマンが、その僕がね、やっぱ垢抜けなかつたというか、突き抜けたり、も早かつたな、揃うの。有難い。実は扱いきれない濃いキヤラとか、オレの方が完全に足を引っ張ることになりそうなメチャ上手な人とか、オレなんか、かすむーみたいな人も、加入希望きて音合わせたりもし。あれも、月並みな言葉ですが、まさにカルチャーショックで、そうね、ますます俺つて何?って、向か

のベースにもいいかなと東京から香川へ移つて、暮らしが落ち着いた頃に、気になる店に、無理矢理出させてもらつて、見ず知らずのわけ

分からん」んな奴なのに。また、気まぐれではじめた。」

●また、ちょっと縦縛が分かりにくいですが、無理なく動き出したの

曲とかで、なんとかやって譲魔化しに近い。もっと向き合つてたら、

もつとちゃんと形が見えたるうに、つて思うけど、まず、やらない

ことは…ってことにして、東京の

時より知り合いもいなければ認知度もないから、ますます客よべないんだし。なわけで、たまにだけど、

覚悟しながらの彈き語り、ならぬ、

弾きわめき、と言つてはいる。」

●それで、今の雑音スクリューにつ

また今奏するときのチームについて
たらしいなど、「二〇一〇年くらいか
人がえて、一人だったら、自分の
名前でいいやつて『ながのまさと
よ』『てなみ乗つてただけ、これこそ、
個性や色が弱いんだよね、いや、
だつたらステージで個性は發揮す
ればばつたりもしたけど、なー
んとも、弱いから、自前のにはフ
ライングで、もう、雑音スクリュー
です。」

●『天井』という音源を配信してま
すよね、雑音スクリュー名義で。こ
れは普通にバンドサウンドですよ
ね。

「あれば、別のを録つてる時に、久
しくやつてなかつた勢いのある演奏
したくなつて、試しに全パート演つ
て録つて重ねてみたら、あれ、『案
外いかも』って、つくり途中の他
の音源より、先に仕上がつてしまつ
たという。ジェットラでもやつてた
曲だけ、僕のデモの段階で、もう

まんまみんな感じたから。と
りあえず出して置いておこうって。」

●では一人で好きなようにレコード
ディングして発表できる状況で、ク
レイマーの音源を出したというの
『月』『月に吠える』『海のない街』
『夢を見るなら目を覚ませ』の3曲

とシーケレットの計4曲収録)では、
何のことやら手が出せないマスター

リングでの手頃な価格でやつて
くれるところを探して、やつても
らつたんだけども、うん、確かにそ

の違いは理解も実感もできただけど、
ないついう、これは後悔が間違
なく自分にあつて。やりたいこと沢
山あるけど、気になるところから、
まず出して終えたかった。」

●『Re556sideA』は、当時の『556』か

らで、『From344sideB』の方は未発

表の音源もありますね。
「僕の機材とかでクレイマーで
録つて途中のがつたから。今回
やつた作業は2枚まるで別ものな
んだけど、一応独学でそれなりに

見様見眞似た技術や知識をね、役
に立つた。そもそも当時も「マスター

リング」って何?全く分からんつ
て状態で、一応自分で録音した

『月』『月に吠える』『海のない街』
『夢を見るなら目を覚ませ』の3曲

とシーケレットの計4曲収録)では、
何のことやら手が出せないマスター

リングでの手頃な価格でやつて
くれるところを探して、やつても
らつたんだけども、うん、確かにそ

の違いは理解も実感もできただけど、
ないついう、これは後悔が間違
なく自分にあつて。やりたいこと沢
山あるけど、気になるところから、
まず出して終えたかった。」

●『Re556sideA』は、当時の『556』か

らで、『From344sideB』の方は未発

表の音源もありますね。

「僕の機材とかでクレイマーで
録つて途中のがつたから。今回

やつた作業は2枚まるで別ものな

んだけど、一応独学でそれなりに

なんか残したかったんだよね。
もうバンド出来ないかもだつたし。



アーブシュミレーターを通して、コンプ（コンプレッサー）をかけて一回アナログに流して落としている。いろいろ試した自分なりの方法として、カセットテープMTR（マルチトラックレコーダー）を経由するのがいいんだ。これはたぶんローファイに落とすとか、テープコンプだけでなく、アナログの何かが、好きな音にして落ちるんだけどね。そつから最後ミッターやラマキシマイザーで、具合を確認して完成。元の音からしたら、音圧はもちろん段違いで良くなってるし、なにより自分が仕上がった。『344』の方は、当時つくった『月』の3曲をメインに、

●ホントです、長かった、『ニ』まで（笑）つまり再リリースとは言つても音圧だけを今風に上げただけでなく、積極的に音作りもしましたから、納得して出したと。

「そう、もともと学ばないし、人に聞かない気分屋バンドマンなもんで、録音もさ、『難しいことは分からん』いい音で、いい演奏したのをそのまま録ればいいんでしょうて思つたから、それも本当なんだけど、カセットテープのアナログM

こんなストーリーは、作品の純粹さみたいなもんを壊なうと思つてるから。

うなものだということは分かりましたし、その上でつくり手としてこの2枚も完成度は満足しているから、「ここ」までの話はナシで作品に触れて欲しいと願つていてることが。

「この2枚12曲は多分この先自分で聴くと思う、思える。フル満足ではないのは前提でも、音源としてはいいとこまで来れた、行けたつてだけ。」

●なるほど、「これまでの苦悩」というか、だから「その、今は随分と手応えがある」ととが、よくわかりました。ではここからは1曲ずつ解説してもらいたいと思います。

「えー?もう終わりでよいじゃん。飛び散らかった話がなんかいい感じ着地しなかった?」

●話にあつたように作品本来の良し悪しが先だとしても、ある程度のストーリーは語られてもいいと思います。特に今、ライブで体感出

来ない楽曲ばかりの20年越しの完結のために、では『Re555sideA』の方から。

「…じゃあ、まず」つちは、レコードイングスタジオで12曲実質4時間弱の中ではほぼ一発録りでつくれた初めてのアルバム音源『556』からの再編版で、タイトルもGoGoRockという意味があるんだか、ないんだか、ないの、再編版といふことで。」

#1 はやい

「1曲目『はやいの』は、高校生の頃だったと思うけど、ギターのコード何個か押さえられるようになって、歌してもらいたいと思ひます。

「えー?もう終わりでよいじゃん。かき鳴らしたら、あつという間に歌できたりキトーン、バンドでこんじに着地しなかった?」

●話にあつたように作品本来の良し悪しが先だとしても、ある程度のストーリーは語られてもいいと思われたけど、印象に残りやす

で、ギターの歪ませ具合が難しいよね、あんまギンギンガツンとやると歌が…なので、いい頃合いの歪み具合でギターのくらもつちがやつてくれてんなあと。最初以外置き場のない曲で、歌詞も真を突いているつもりの、えつゝってなつてもグサッと来ない塩梅がよい先制軽めパンチな曲ね。」

「556」で録った音源もあるけど、今回はその前、初レコードイングバージョンを入れた。やっぱ緊張感とか、キドキ感とか、こっちの方がつってるから。曲は2度、4度のコードまみれで、それはもうスピ

ス的でなく、これで当然のよう

な乱用が鼻につくんだけど、それでも良く出来ているんじやない?これもサラーツとんー、いやドローツと出来た曲。ギターロックのバラード風なら、こんな感じ?つて當時は素直に、まとめてみました

「この抜けたというか脱力系な、緩急の、これもギター弾いて喋る

うか背景も知ると、まだこの音源の聞こえ方が、ひと味違つたり、深く味わえそうですね。「いや、それは違うかな、すみませんね、いちいち否定みたいにして

（笑）こんなストーリーは、作品の純粹さみたいなもんを壊なうと思つてから、例えば長い下積みを経てとか、全國を武者修行してとか、メンバーと衝突し苦しみながらとか、長年の構想の末とか、行方不明にだつたマスター、テープが発見されて、なんのもあるじゃん?それが好みの音になりましたってね。だから、今回の音源は、そんな長つたらしいあれやこれやを経ての、足つてことです。耳も魂も肥えて、なんに微妙だつたりダメなもん（笑）」

●なるほど、「こく来てぶっちゃけましたね。そういうストーリーとい

は思います、作品本位主義のよ

かっただけだと思うなあ。演る方も、マイナーな、ちよいダークな、気持ちよく演れる曲だったかな。」

#3 青

「556」で録った音源もあるけど、今回はその前、初レコードイングバージョンを入れた。やっぱ緊張感とか、キドキ感とか、こっちの方がつってるから。曲は2度、4度のコードまみれで、それはもうスピ

ス的でなく、これで当然のよう

な乱用が鼻につくんだけど、それでも良く出来ているんじやない?これもサラーツとんー、いやドローツと出来た曲。ギターロックのバラード風なら、こんな感じ?つて當時は素直に、まとめてみました

「この抜けたというか脱力系な、緩急の、これもギター弾いて喋る

うか背景も知ると、まだこの音源の聞こえ方が、ひと味違つたり、深く味わえそうですね。「いや、それは違うかな、すみませんね、いちいち否定みたいにして

（笑）こんなストーリーは、作品の純粹さみたいなもんを壊なうと思つてから、例えば長い下積みを経てとか、全国を武者修行してとか、メンバーと衝突し苦しみながらとか、長年の構想の末とか、行方不明にだつたマスター、テープが発見されて、なんのもあるじゃん?それが好みの音になりましたってね。だから、今回の音源は、そんな長つたらしいあれやこれやを経ての、足つてことです。耳も魂も肥えて、なんに微妙だつたりダメなもん（笑）」

●なるほど、「こく来てぶっちゃけましたね。そういうストーリーとい

ようによんと出来た曲。オリジナルです！つて感じのドヤ顔でやつてたと思う、今思えば(笑)でもって、やつて楽しかったな、最後の長さも決めてなかったから、いつまでやるんだよつて長くなっちゃつたこともあつたね。なつかしー。」

#5 ハッピーメーカー

「ハッピーメーカー」という言葉が浮かんで、それをなんとなく頭の中に浮かばしておいて、ギターでジャカジャカっとできた曲。チャックベリー風なイントロ、ちゃんと聴いたことないもんだから、なんとか、それ風な(笑)テキトー極まりない。そんでもギター持つてる2人は毎回決めないで自由に弾いておりましたな。」

#6 いくつも泣きました

「音はスッキリなんだけど、メッセージは半端な、思わずぶりで、

無くしてならぬし、さあどう料理しようかと、いろいろ学べたりもした、その辺全部ひとりよがりな裏話あります。よくできました。」

#2 少年

「音源としては初出しバージョンも許せらず、録り直した。20代のクレイマーの演奏に40代のおさんで、少年を歌う、奇妙なことになりました。ライブではイントロのところギターだけでなく、ドラマやベースもくるんだけど、音源としては流れ的には、ない方が後の演奏の方がんと来るのとメリハリもあっていい感じに。作詞作曲はこれもすんなりE♭とA♭だけで、ガーッと

ワーッと、当時はホント体感的には20分位で曲がすらすら出来ていたけど、実際は7、8分とか、10分かかるてないとと思う。」

●今も作曲は、スラスラいけるんですけど？

「できそうな時つて、なんか分かる、降つてくるとか、湧いてくるとか言う人もいるだろうけど、自分はそういう感覚もわかるけど、自分に自分が『あ、行けるなあ』って入つてく感じ。でもそんな時に『急いで形にしなきゃ』とか『集中しよ

う！』とか力むと僕の場合ダメね、逃げると言うか、離れていくのか、うちに意識を自覚しながら漂わして、自然に歌う。歌詞も行けるところまで流れ出す。その結果2番の歌詞出来なかつたとか、よくあるけどそれでもよし、それまで出た部分を鼻歌してるうちに、感覚戻ってきたり、こなかつたり。結

めやつとする曲ですか。ナイーブな、センチメンタルな、何か。歌い出しぐ'AからC#Bに流れたところで、はい出来ました、つて感じの曲。ライブ最後の曲によくやつてた。ハッピーメーカーからの、間髪入れず□に流れる。」の『Re556sideA』は、なんも記録は残っていないけども、一回くらいいはこの順番で演つたであります、すんなり選んで演るとなんな感じみたいな曲ね。」

●曲も演奏も初期というか、まさに順番的にもクレイマーの前半としてのA面ということと、よくわかります。演奏もシンプルというか素直というか、進んでいく感じが鮮明ですね。そしてB面につづくといふ。

「『From344sideB』は、THE CLAIMER 発祥？結成の地が春日部埼玉県ということで、春日部の郵便番号をいれてみた。」

●サイドAの曲とはまた違うけれども、各自でご自由に、でありながら、メンバー全員がやつたことのない曲調で、どうやろうかなと、それが初体験ばっかなのよね。持ち場で見様見真似から、それ、自分の演奏になつていくのは、渦中にいて心地よかつた。それが当然みたいに思つてしまつたりもして、他の曲もだけど、よくここまで頑張つたなあ、と思う。」

●サイドAの曲とはまた違うけれども、各自でご自由に、でありながら、メンバー全員がやつたことのない曲調で、どうやろうかなと、それが初体験ばっかなのよね。持ち場で見様見真似から、それ、自分の演奏になつていくのは、渦中にいて心地よかつた。それが当然みたいに思つてしまつたりもして、他の曲もだけど、よくここまで頑張つたなあ、と思う。」

勢いだけでは物足りませぬ、バンドのグループ無くしてならぬし、さあどう料理しようかと、いろいろ学べたりもした

詞を後付けする時は、納得行くまでフワフワ試しながら、最ももじつくりくるヤツを、『なんか、1番の歌詞さんから見たら、よそ者かも知れないんですけど、これで行くのがいいと思うんで、よろしく！』みたいに仕上げ方、そんで、そこからはまづ変更しない。それ以上はないし、作詞作曲テクニカル的に決めたり、いじつたりしない。それやるとまるでダメにしちゃうんで僕の場合。』

#3 月に吠える

「コードがEからGでAに弾いたらしつくりきて、前からこの歌あつたかのようにすんなりできた曲。これまで毛色のちがう曲ができる、違和感ありまくりのハズがよくバンドも受け入れてやつたなあと。ちょい長いし、これ演るとライブできる曲数減るんだけど、一気に空気変えるのにも重宝した名曲ですな(笑)演奏も難しくなく演れる

もやつとする曲ですか。ナイーブな、センチメンタルな、何か。歌い出しぐ'AからC#Bに流れたところで、はい出来ました、つて感じの曲。ライブ最後の曲によくやつてた。ハッピーメーカーからの、間髪入れず□に流れる。」の『Re556sideA』は、なんも記録は残っていないけども、一回くらいいはこの順番で演つたであります、すんなり選んで演るとなんな感じみたいな曲ね。」

●曲も演奏も初期というか、まさに順番的にもクレイマーの前半としてのA面ということと、よくわかります。演奏もシンプルというか素直というか、進んでいく感じが鮮明ですね。そしてB面につづくといふ。

「『From344sideB』は、THE CLAIMER 発祥？結成の地が春日部埼玉県ということで、春日部の郵便番号をいれてみた。」

●サイドAの曲とはまた違うけれども、各自でご自由に、でありながら、メンバー全員がやつたことのない曲調で、どうやろうかなと、それが初体験ばっかなのよね。持ち場で見様見真似から、それ、自分の演奏になつていくのは、渦中にいて心地よかつた。それが当然みたいに思つてしまつたりもして、他の曲もだけど、よくここまで頑張つたなあ、と思う。」

し、「これやつとけば他のバンドとは個性分けもしやすかったような気もする。歌詞も自分としては無理なく背伸びせず吠えられるから、消耗しないで、むしろすつきりブーストして気持ちよくなれるみたい」。合奏のグルーヴ感でやつがこの曲が、つかめるキッカケみたいな感じもあたかな。「この音源も、歌は去年録り直したから、演奏にちゃんと乗る必要はありながらも、その辺も納得するまで出来たかな。独りでもよく演る曲。」

●この曲は特にメッセージ性や、何

かに向かって歌っているように「聴いてくるんですが、何か関連する出来事などがあったんですね？」
「なーいね。怒りや憤り、不満みたいなもんで、燃料になりやすいから、平々凡々な日常の中で、そー ゆーのって声高に『どうなんだー』って！」批判したり問題にしやすい、正当性を帯びさせてても、問題提起人の勇者感があるというか（笑）不満なことに目を向けて探しに行つて近づいて、自分からね、それが何が面白いんだって思うけども、当時の自分は、そういうのが

カッコいいみたいなナルシスト、あつたかな。そういう立ち位置と見方がロックだ！みたいな、話題探しの燃料探しなだけを、よくも「」までやれるなど、ちょっと褒めたいらしさで、自分がそーやー世界といふか世間に居るからかもだらうけど、今歌つてもまあまあ痛くひつかる言葉が見事にチョイズされんなど、借り物の言葉を『自分が何の影響でその言葉を借りてきてるか？』も含めて、自分のヌルさや青さも含めて、記念碑的な歌だ、』ねいります。そうゆーのも込み

れば、くつきり極太で引かれたりしませんか？
「ん？ 謝論家ですか？ でもそれはありがたい解説だね。意味分からず、どうラインが時々チラついたかと思体を通して大人と子ども、少年とか、自分と相手、自分側と、そつち側といった、分断や意識のフィールドとラインが時々チラついたかと思え、」
●この『月に吠える』に限らず、全曲を通じて大人と子ども、少年とか、自分と相手、自分側と、そつち側といった、分断や意識のフィールドとラインが時々チラついたかと思え、くつきり極太で引かれたりしませんか？

「ん？ 謝論家ですか？ でもそれはありがたい解説だね。意味分からず、どうラインが時々チラついたかと思え、」
●この『月に吠える』に限らず、全曲を通じて大人と子ども、少年とか、自分と相手、自分側と、そつち側といった、分断や意識のフィールドとラインが時々チラついたかと思え、くつきり極太で引かれたりしませんか？

OKKI'N RON JAPAN



そういう立ち位置と見方がロツクだ！みたいにな、話題探しの燃料探しなだけを、よくも

基本、独りで、仲間とか繋がりとか、ないよね。そんな独りである自分が、聴く人や伝えたい相手、もつと言えば世界にはそれぞれ居て、

それぞれ独りだからこそ、群れるとか、同調より、その方がつながる「」とも出来る気がするし、そこには本当のそれぞれのリアルがある

「」といふ。ちゃんと自分は、本当に？本当に？に聞

ていいの？このままでいいの？みた

いな、存在価値とか理由が欲しくなるつつかくすぶりとか、恥ずかしい当たり前過ぎる自問自答か

らの、アンサーを自分なりにね、もちたい心の状態だったといふ、「」と

なんだと思う。高尚な優れた芸術

ではなく、素に表出する自分なん

で、その極みな曲だよね。」

●自身については、思考の整理や精神浄化の役割もあつたんですね。

あまり分析にも不向きなことも分

かりました。

「本人がなんとなく、つづって、な

くともなくして、だけども、やっぱり

おこんなの歌いたいで。當時自分

は、大変ではないバイト掛け持ちしながらバイトしてでもそれは辛くもなくて。だけども、やっぱり

とてもいいじゃんとか、時間の無駄

に感したり、でも、そんなこと考えもせず、淡淡と時間過にして、過ぎて生活続けるって中で、ここに居る自分は、本当に？本当に？に聞

ていいの？このままでいいの？みた

いな、存在価値とか理由が欲しくなるつつかくすぶりとか、恥ずかしい当たり前過ぎる自問自答か

らの、アンサーを自分なりにね、もちたい心の状態だったといふ、「」と

なんだと思う。高尚な優れた芸術

ではなく、素に表出する自分なん

で、その極みな曲だよね。」

●自身については、思考の整理や精神浄化の役割もあつたんですね。

あまり分析にも不向きなことも分

かりました。

「本人がなんとなく、つづって、な

くともなくして、だけども、やっぱり

おこんなの歌いたいで。當時自分

は、大変ではないバイト掛け持ちしながらバイトしてでもそれは辛くもなくて。だけども、やっぱり

とてもいいじゃんとか、時間の無駄

とかないし、分析や理解も、それぞれどうぞ、としか言えませぬ。次いど、當時の音としては一番もつたないなど思つた音源で、だからといつて、どんなサウンドが良かったのか、当時はまるで分からなかつた。それでもアルバムなら曲数稼ぎにもなるし、そもそも自分たちの演奏を後でちゃんと聴くこともなかつたから、録音してみて、『あれ？なんかおしい』って個人的に思つたまま、それでも収録して出したけど、で、20年の時を経て今回リベンジのつもりで、イコライザーとか「」をあれこれ試して

みて、それでもあくやつば良くならんかあ、サイドBは予定より1曲減らして5曲のみにしおつかなと諦めかけたところでそれぞれ音調整したのを2バージョン同時に再生したら、なんかいい感じになつたという。だから、微妙な音のバランス違いがいくつもある。出せてホツとした逆転勝利な感じの曲、これも聴く人にはどーでもいい上品ソード（笑）」

●当時の音を今風にアレンジして、ぱつぱつハマつたと捉えていいんですけどね？

「今風つてことはないかな、今はどれも音スッキリの『』ンガツン」としつつ、音ヌケのよいキラキラしたサウンドよね。コレはもとの音がぐずぶつててから、ノイジーで歪んで

…キラキラとうより、ズガーネーと低めに、キマるとうより、当たる、というか。當時やれたらやりたかったサウンド、もしかしたらライブでたまにこんな風に出来たかもなサウンド、そんなんを「2曲とも目指して仕上げた。今の音に持つてくには、録り音の音づくりも、ノイズ対策も、(周波数)レジンも足りない感じがする。プロのエンジニアなどからでも何とかなるかもだけね。いや、「これで十分す。」

#5 海のない街

「Am→C→F→Dって鳴らしてたら、あれよあれよとイメージが…ほんとそんなんばかりで出来てる曲。海が遠かったからなあ、たまに行くと、ますます憧れっちゃうのよね。海。浮かれたり、騒いだり、眩しい海じゃなくてね。月に吠え

らの恨みでもがいても、どうにもならん毎日との対比ね。コード進行が強すぎとか、ギターはやりにくかったと思うな、ソロなんか特に。それが、これしかないんじゃないかって、ギターとベースと、ドラムになっているのが、歌をつづけた者としては、感謝というか奇跡的よ。珍しくテーマありの世界観貴いてるよき楽曲と思う。このコード進行好きで、好きなアーティストの、わー似てる、てか同じ

か…って気ついた曲もいくつかあって、無意識に影響バリバリだったねって、これはこれでよく仕上がっております。ライブでは、雰囲気もアレだし、沈むというか盛り

上がるんで、だんだん演らなくなったけど、名曲です。」

●歌詞も僕は「からばしまつて、内向的心情が語りのようになじて、サビの「夢は必ず叶うなんて」で決意というか、自分に聞いかけるようにパーソナルなテーマのようで、スケールを感じるのは、曲調ですか？

「これも当時の音に、多少音さわったけど、歌は最近録りなおし

たもの。とにかくこの曲は付き合いで、『ナレバナレバ』になったけど、どの曲やる?とか、クレイマーに限らず、何かのときは、とりあえず「こいやつとけばいいだろ」的に、お世話になり甘え続けた楽曲。なんか、ずっと、フワツビ、「いつ

月に吠えると同じく、ライブの流れができる曲もなんで、何曲田にやるとか、案外難しかったかもと記憶している。1曲目やってみたこともあるけど、後がやりにくかつたり、なんか存在デカい曲です、思

い返してみると。」

●歌詞も僕は「からばしまつて、内向的心情が語りのようになじて、サビの「夢は必ず叶うなんて」で決意というか、自分に聞いかけるようにパーソナルなテーマのようで、スケールを感じるのは、曲調ですか？

「私でやりました。ちょっと古い感じに仕上がったのも、古い音源だ

「さあ(笑)他人に言ひながら、自分は分かつてゐるから、そちらさん達とは違うのよ、と言わんばかりの、でも自分に返つて来ちゃうから、それでもまた言い放つ、遅かれ早かれ自分に戻つてくる?ような、ループのようなのを、ステージ上で感じることがあったね。自給自足なりよりよがりな、目標、くすぶり、高揚、放棄、達観、その時々で、違うというか、誰がどうして、何に向かって歌つてんだか、謎に。キヤツチーな歌かと思ひきや、深みに、味わい、広いというかな。個人的に一生歌える歌だと、大事にしているような、背負つているような、付きまとわれているような。そんなのははは、なんじやそれ(笑)はい、以上です。全曲解説。」

●ジャケットというか今回のアートワークは?「私でやりました。ちょっと古い感じに仕上がったのも、古い音源だ

統得する」としか、しないと思へ。 | 番樂しむにしてるのは、いつも自分なんだ。

し、「らしくて」と「これも気」入っている。ミックスの段階でなあ「マスタリング」がなあ、ジャケツトがなあ、とかじやなく「ほんとに」全部に責任もつて逃げられなくしたいし。」

●今の時代、デジタル配信のサブスクや単曲で聴かれる」とには、抵抗や問題ないですか? 「アルバムとか通して聴いてホントにいいなあと思うのって、滅多にない」、自分もほとんど、曲単位、プレイリストで聞くし、それでいいじゃんと。音圧については、世に出回っている曲のあいだに、ウチの音源が入つても耐えられるようにつもり。それでも曲順も曲間も「だわったから、通して聞くのが一

番いいと思う。それは、つくり手みんな同じか。」

●YouTubeなどの動画配信について
「はは、と昔から、人気になって増えたメディアは、どんどん増え、良いも悪いも薄味も混在して全体の質は下がるよね、やっぱ大量になると、本やCDもそうだった。何なら浮世絵なんかもそうだったんだろうと、そういうもんだと思つてるから、好きな探しで好きに楽しんだらいい。たくさんあるのはいいこと。探すのが面倒で『全体の質が落ちた』とか『何々の時代は終わつた』っていうなら、離れればいい。しなきやい。」

●今回苦労した曲はわざわざ出たの

で、では、今回の曲の中や、THE CLAIM-ERをはじめて聴くとしたいための曲がいいですか? 「『月に吠える』に、しょーか。」

●逆に、一度聴いただけでは味わいきれない、何度も聴いてみて欲しい曲は?

「ふー、全部(笑)つてか、『月に吠える』は聴かなくていいんじゃない?僕もたまーにあるけど、何度も聴いたら、他の人の他の曲聴いた方がいいよ。いい音楽いっぱいあるから。」

●なるほど、いろいろ聞いてきましたが、今改めて思うことがありますか? THE CLAIM-ER より2004年～2002年の8年間ど、」の2枚1つの曲。

「はじ、まとめだね(笑)それは、ない。いつも素直にやつてきたつもりなんで、いつもやつてる」とが全部ないから、まだまだ形変えて、今更出して、やつてること、やつてきたことを良かつた」とにするのに必死な気もするし、自然と今まで以下もない。あきらめられないから、まだまだ形変

て。以上も以下もない。出せてよかつたのは、間違いないです。」

●やはりドライかウエットでいうと、やはりドライなんですね。この割と長いインタビューで真面目に答えてくれたとは感じますが、振り返つてみてや、思いもかけない感情に気づくとか、そういうものはありませんでした?



●今後につけば?

「なるようになるじやなくて、やりたいようにやる。大きい小さいもどうでもいい。焦りも手抜きもない。納得する」としか、しないと思うし。一番樂しみにしてるのは、いつも自分なんで。(笑)（インタビュー）そろそろ終わる? ない、

「じゃねえ」

●わかりました、今回はそれでも、集大成であり、過去の産物であると思うので、これから展開がどうなるか、興味深いです。

「約束はしない。好きにやるので。」

●そうですか、ほんとに、最後までですね(笑)